

8300A 取扱説明書

1: 安全上・使用上のご注意



正しく安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

すべての警告に注意を払ってください。

必ず手順に従ってください。

水の近くでは使用しないでください。

掃除する際は、必ず乾いた布をお使いください。

製造元の指示に従って設置してください。

次のような場所に置かないでください。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になる場所

必ずAC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んで使用してください。



ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。

落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

長時間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

もし雷が鳴り出したら、機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

何か機器に異常が生じた場合、お客様による修理などは危険ですのでおやめください。安全を確認してから販売店または輸入代理店にお問い合わせください。

※注意：これを無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定されます。内容をよく理解し、操作手順にしるされていないことは決しておこなわないでください。

この機器を設置する際は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにする
- ・押し入れ・AVラック以外の本箱など風通しの悪い場所に置いたりして使用する
- ・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

※警告：必ず付属の電源コードを使用してください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電池を使用するときは、極性表示に注意し、表示のとおり正しく入れてください。

指定以外の電池のご使用、また新しい電池と古い電池を混ぜてのご使用はおやめください。

また、電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かないでください。

※注意：間違えると電池の破損、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

※電源電圧：Audiolab 8300シリーズの電源電圧は、後部パネルに示されています。もしこの電圧の値がお住いエリアの電圧と合っていない場合、販売店または輸入代理店にお問い合わせください。

IECメインプラグを取りはずすと、後部パネルにあるメイン供給ヒューズが確認できます。もしヒューズに破損がある場合、交換をする前に、異常がある個所の原因を確認して下さい。

ヒューズの値は次のとおりです。

100-120V、T1.6AL 250V スローブロー

2: ご使用になる前に

お買い上げいただきありがとうございます

本機は8000Aの素晴らしい性能を引き継いだAudiolab社の高品質アンプです。

洗練された音楽のディテールと強力な過渡特性のバランスを再現するために、本機はその見た目では計りしえない性能を搭載しています。

絶対的な安定性と繊細さを持つスピーカーの負荷を駆動するために設計され、8300CDなど他のAudiolab製品と大変相性がいいです。

自信をもってお客様にお勧めできる機器となっています。

本機の性能を最大限発揮させるためにも、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

入力：

- ・外部アナログ入力 x 6 (内1つがPHONO入力、MM/MC切替可)
- ・パワーアンプ入力 x 1
- ・XLRバランスアナログ入力

出力：

- ・プリアンプ出力 x 2
- ・ラウドスピーカー出力 x 2

操作機能：

- ・音声信号を極限まで変化させない回路設計
- ・独立したプリセクション、パワーセクション
- ・ハイエンド・オーディオクオリティのフォノ入力搭載 MM/MCの選択可能
- ・12Vトリガーによる接続機器の電源連携機能
- ・フロントディスプレイの輝度調整
- ・オートスタンバイ機能

本体・付属品

以下のものが同梱されているか確認してください。

- ・8300A本体
- ・電源ケーブル
- ・リモートコントローラー *電池は含まれておりません。単4電池をご用意ください。
- ・取扱説明書 (本書)
- ・保証書

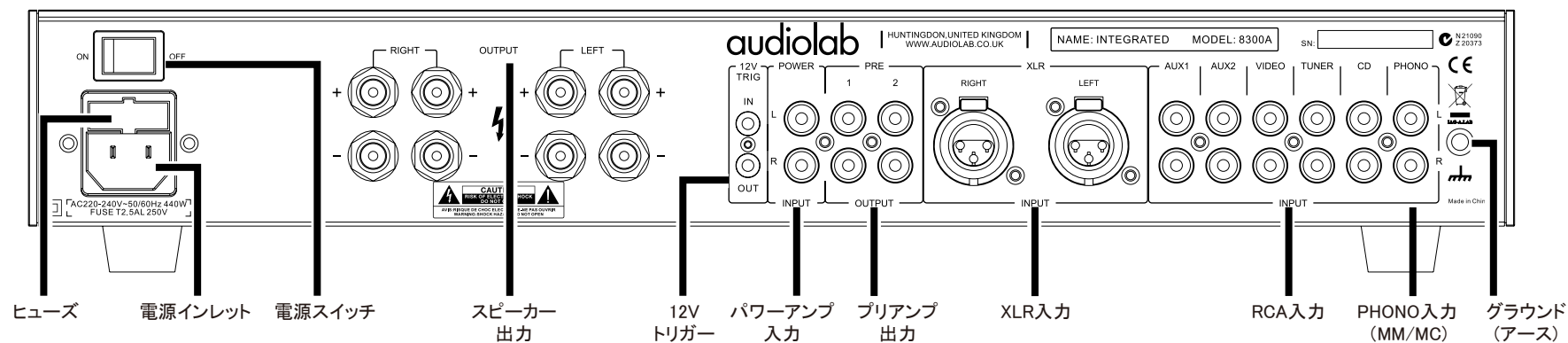
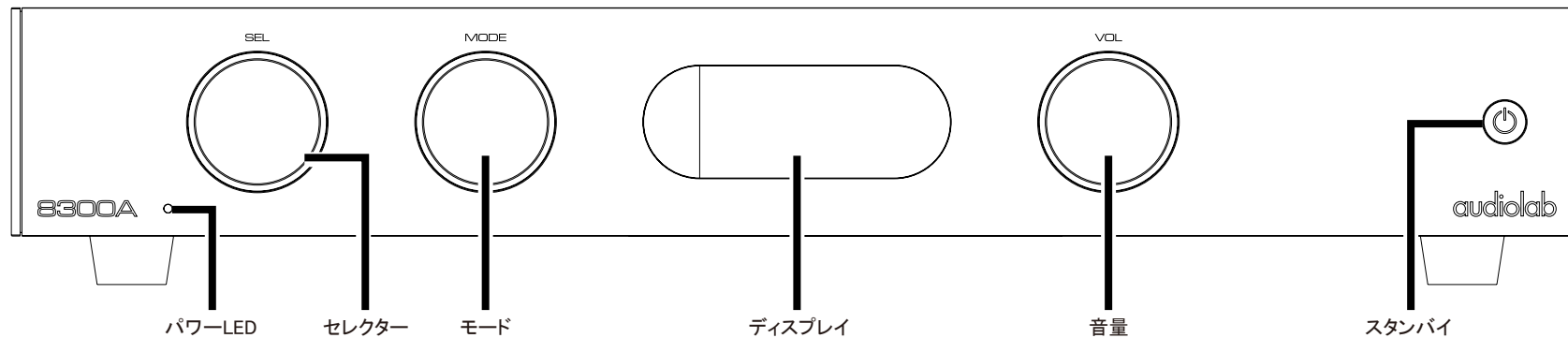
上記のものが欠品もしくは破損していた場合、お求めになった販売店または、輸入代理店 までご連絡ください。尚、梱包箱を含めた付属品はアフターサービスの際に必要になります。大切に保管してください。

設置

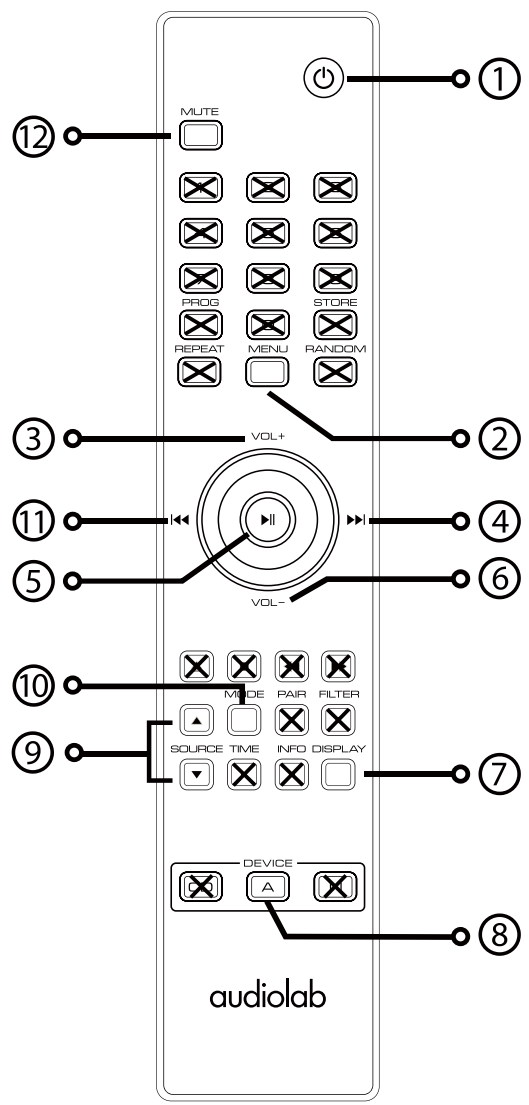
本機を設置する際は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し離して置いてください。また、ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。必ず付属の電源コードを使用し、AC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでください。

もし本機後部パネルに表示されている電圧の値がお住まいエリアの電圧と異なる場合販売店または輸入代理店にお問い合わせください。

3: 各部の名前 (本体)



4: 各部の名前と働き (リモコン) 注意：×で消されている箇所は、他のAudiolabユニットで使用可能なボタンになります。本機でのご使用はできません。



- 1 STANDBY 電源をオン/オフします
- 2 MENU メニューモードを選択します
- 3 VOL+ 音量をあげます
- 4 ▶▶ 次のメニューページまたは設定に移動します
- 5 ▶|| メニューページを選択または設定します
- 6 VOL- 音量を下げます
- 7 DISPLAY ディスプレイ表示のオン/オフを切り替えます
押し続けると、明るさレベルを調整します
- 8 A 8300A用リモコンに切り替えます
- 9 SOURCE ソース入力を選択します
- 10 MODE モードを選択します
- 11 ◀◀ 前のメニューページまたは設定に移動します
- 12 MUTE ミュート (消音) 機能をオン/オフします

※注意：本コントロールは8300シリーズ共通になります。
本機を操作する際は、「A」を押してください。

使用する電池に関して

リモコン裏面のフタを外し、ケースの+と-の表示に合わせて乾電池(単4形) 2本を入れフタを閉めてください。

指定以外の電池のご使用、また新しい電池と古い電池を混ぜてのご使用はおやめください。

また、電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かないでください。

不要になった乾電池を破棄するときは、お住いの地域の条例に従って処理してください。

※注意：間違えると電池の破損、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

リモコン使用上の注意

このリモコンを用いて、いくつかのAudiolab製品を操作することができます。

×で消されているリモコンボタンは、他のAudiolab製品で使用するためのボタンで、本機でのご使用はできません。

リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、15メートル以内の距離で操作してください。

本体とリモコンの間に障害物を置かないでください。

本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作が出来ない事があります。その場合は、本機を移動してみてください。

本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器が誤動作することがありますのでご注意ください。

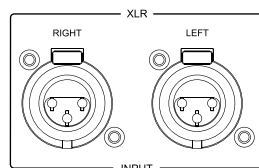
5: 接続のしかた - 1

入力

バランス入力 (XLR INPUT)

本機はバランス入力に対応しています。バランス接続は、幅広いダイナミックヘッドルームと高いS/N比により、高品質の音声信号を入力する事が出来ます。

また、バランス出力を備えた機器と接続する際に使用する事が出来ます。



アンバランス入力 (INPUT)

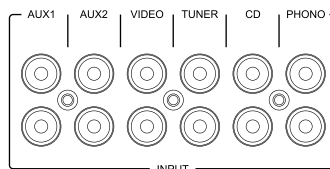
本機はAUX1、AUX2、VIDEO、TUNER、CDとMM/MCの切り替えが可能なPHONOの合計6つのRCAの入力を備えています。

接続する機器に応じて任意の入力をご利用下さい。

注意：PHONO入力はレコードプレーヤーとの接続時のみ使用し、CDプレーヤー等の機器は接続しないで下さい。故障の原因となります。

注意：PHONO入力のMM/MCの切替はメニュー内で行います。

詳しくは8ページをご参照ください。



パワーアンプ入力 (POWER INPUT)

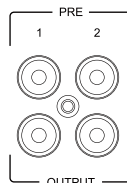
本機をパワーアンプ (メインアンプ) として使用する場合に使用します。「PRE-POWER」モードが選択されている場合にのみ動作します。



出力

プリアンプ出力 (PRE OUTPUT 1,2)

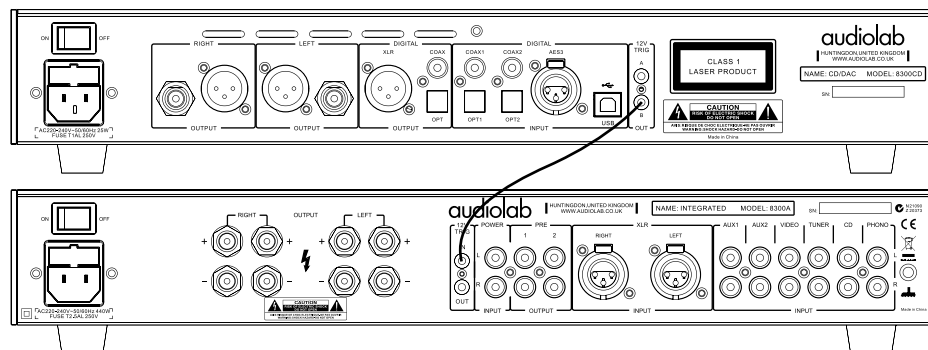
本機をプリアンプとして使用する場合、もしくはアクティブタイプのサブウーファーと接続する場合に使用します。「INTEGRATED」モードが選択されているとき「MUTE」がONになっているときは出力されません。



12Vトリガー接続 (12V TRIG)

8300シリーズ複数台でオーディオシステムを構成している場合、12Vトリガー回路を使用することで電源の一括操作が可能になります。

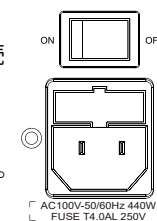
本機ではINとOUT 2つ12Vトリガーコネクタを備えており、他の機器からのトリガー信号を受けて起動することができます。また、同じトリガー信号を別のトリガー入力対応の機器へ供給する事が出来ます。



電源入力

本機の主電源を入れる前に、他のオーディオシステムすべての接続が行われたことを確認して下さい。

本機背面の主電源スイッチが切られてる事を確認して下さい。付属されたケーブルを使用して、ACコンセントにつないでください。



6: 基本操作 - 1

電源を入れる

使用するすべての機器を接続し、主電源をオンにします。
その後、本機を含むすべての機器の電源を入れます。
電源を入れると、LED が点灯します。

電源を切る場合は、トリガーを有効にしている場合を除き、まず本機の電源を切ってから、他機器の電源を切ってください。

スタンバイモード

本機は、電源を入れるとスタンバイモードになります。

Ⓞ ボタンを押してスタンバイモードを解除すると、LEDが明るくなり、しばらくするとユニットが起動します。

また、Ⓞ ボタンを3秒間長押しすると、オートスタンバイ機能が起動します。この機能を用いることで、20分間操作しない状態が続くと本機は自動的にスタンバイモードになり、LEDは弱くなります。

※お買い上げ時の設定は「オフ」です。

保護

本機は、一定時間過負荷状態になった場合、オーディオオール出力を中断する温度ヒューズによって保護されます。

ディスプレイには3秒間「PROTECTION」が表示された後、表示が消えLEDが点滅します。

操作を復元するには、Ⓞ を押して一度スタンバイ状態にしてから、もう一度ボタンを押すと再起動します。

audiolab

PROTECTION
01sec

ソースの選択

フロントパネルの「SEL」ノブを回すと別ソース入力を選択できます。本機は、AUX1、AUX2、VIDEO、TUNER、CD、PHONO、XLR、合計7つの信号入力を利用可能です。

音量レベルの変更

フロントパネルの「VOL」つまみを回して音量を変更します。範囲は-80dBから+8dBまでであり、工場出荷時ボリュームは、-40dBに設定してあります。

電源を切る時の音量レベルが-40dB未満に設定された場合、次に起動するときの初期音量レベルは、最後に使用した値になります。もし音量レベルが-40dBより高い場合、初期音量レベルは-40dBになります。

消音(ミュート)にするには

フロントパネルの「VOL」つまみ、またはリモコンの「MUTE」を押します。

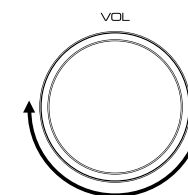
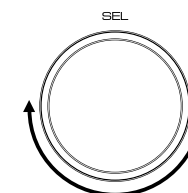
ディスプレイのオン/オフ切り替え

リモコンの「DISPLAY」を押して、ディスプレイのオン/オフを切り替えます。

ディスプレイがオフのときは、任意のキーを押すとディスプレイがオンになります。しばらくするとディスプレイは再びオフになります。

本機主電源のオン/オフ切り替えをするとディスプレイが復元します。

ディスプレイの明るさを変更するには「DISPLAY」を押したままにします。明るさは、1から8までの8段階のレベルで選択できます。



VIDEO-20.0dB
Integrated Mute

Display Off

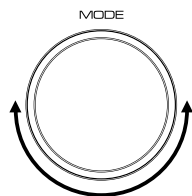
Display On

6: 基本操作 - 2

モード選択

本機はインテグレイテッド (プリ・メイン) アンプですが、モードを切り替えることでプリアンプとして、パワーアンプとしても機能します。フロントパネルの「MODE」ノブを回してモードを選択します。

注意：モードを切り替える際や、接続を変更される際は、必ずミュート機能を使用してください。

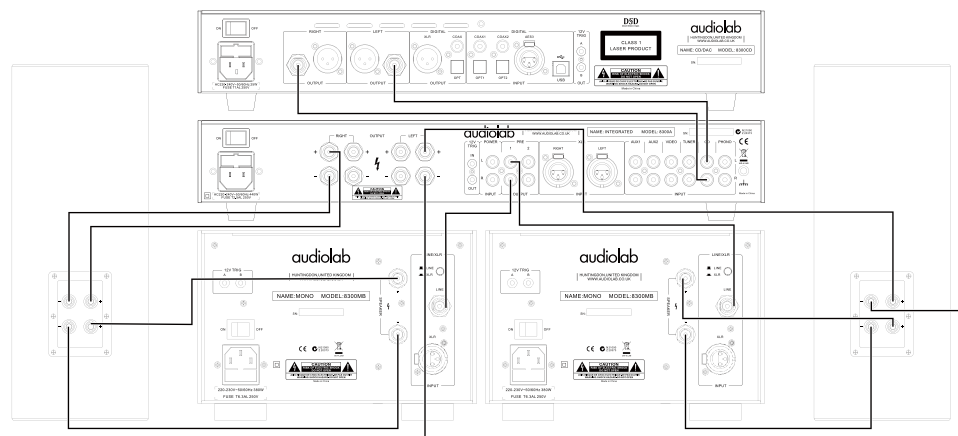


MODE	POWER AMP IN	PRE-AMP OUT1&2	PRE-POWER INTERNAL LINK	LOUDSPEAKERS
PRE	無効	有効	無効	無効
PRE-POWER	有効	有効	無効	有効
INTEGRATED	無効	有効	有効	有効

「INTEGRATED」モード

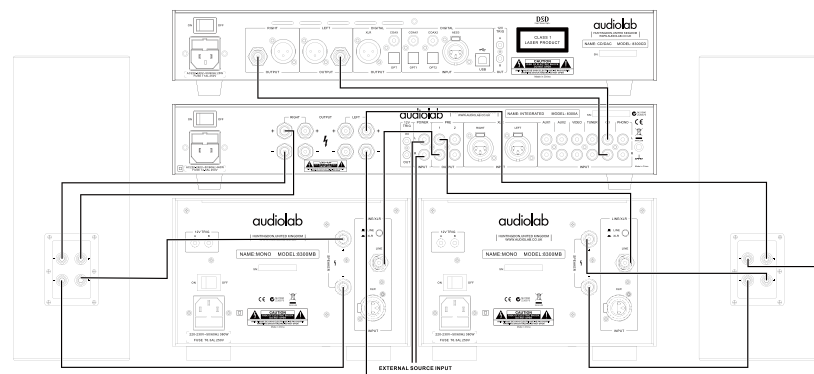
スタンドアローンのインテグレイテッド (プリ・メイン) アンプとして動作するモードです。プリアンプ出力 (PRE-AMP OUT 1,2) から信号が出力されます。

この出力を利用することで別のパワーアンプやアクティブサブウーファーに接続することができます。



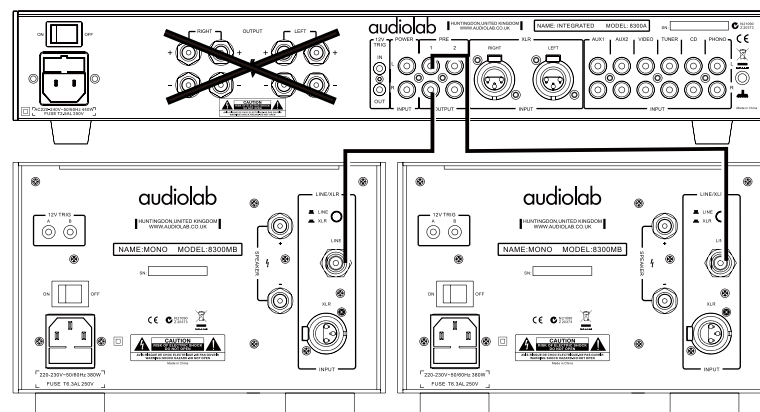
「PRE-POWER」モード

本機をパワーアンプとして使用する場合はこのモードを選択します。またプリアンプとしても使用可能です。このモードではプリアンプ出力、パワーアンプ入力 がアクティブ (有効) となります。スピーカー出力 (バインディングポスト) からはパワーアンプ入力に入った信号のみが出力されます。



「PRE」モード

スタンドアローンのプリアンプとして動作するモードです。スピーカー出力からの信号出力はありません。下の図のように外部アンプに接続してご利用下さい。



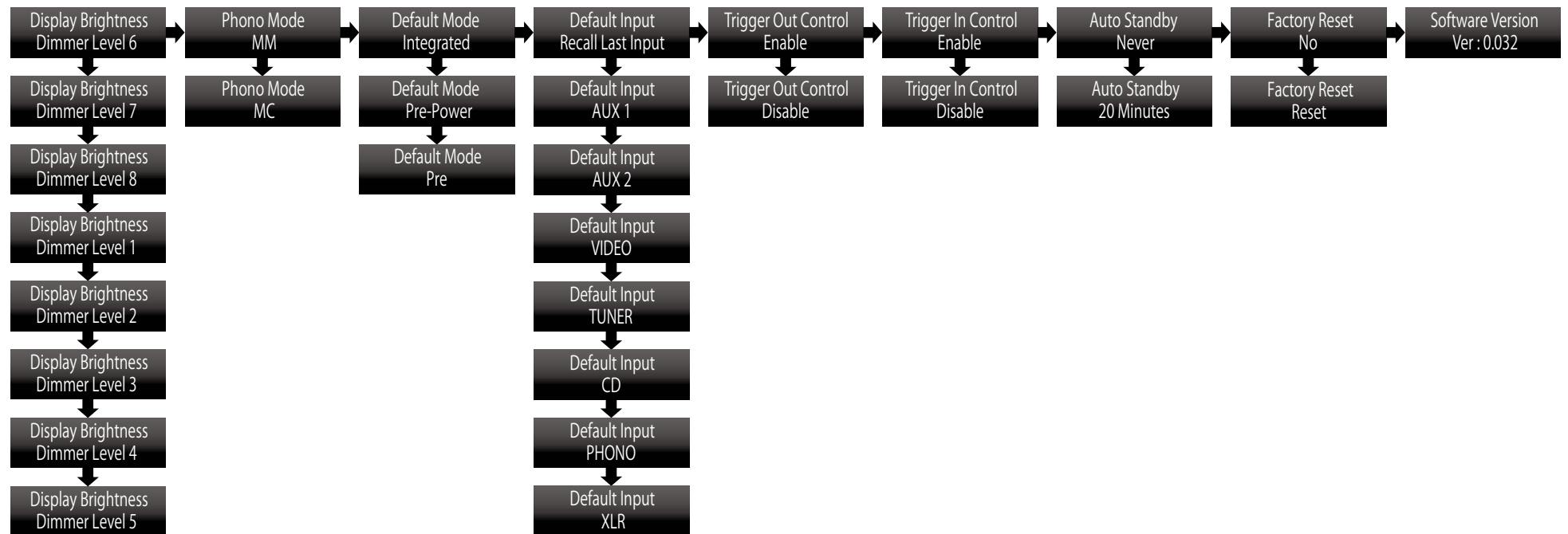
7: メニュー

メニューを使用することで、本機をカスタマイズし、システム内の他の機器とのインターフェイスを最適化することができます。

本機には8種類のメニューページがあります。MENUキーを押してメニューモードにした後、◀◀または▶▶を押して別のメニューページを表示し、▶▶を押してメニューページに入り、◀◀または▶▶をもう一度押して別のメニューページを選択します。設定を確定するにはもう一度を▶▶押し、メニューモードを終了します。フロントパネルの「MODE」ノブを押すとメニューモードに入り、ノブを回して別のメニューページに切り替えることができます。また、再度「MODE」ノブを押すと任意のメニューページを入力したり、設定を切り替えることができます。別の設定を選択するには再び「MODE」ノブを押してください。5秒間操作しないと、メニューモードも終了します。この設定は、▶▶または「MODE」ノブが押されない限り効果を発揮しません。

メニューツリー

下記はメニューオプションの構成を示したものです。メインメニュー項目が一番上にあり、下層に標準設定を示しています。



8: 保証とアフターサービス

弊社製品及び取扱いブランドの商品において、修理や返品、返金など、金銭に関わる場合につきましては、弊社はユーザー様へ直接の対応を行うことができません。お手数をおかけしますが、保証規定をご確認の上、ご購入履歴（レシートや納品書など）と、保証書をご用意いただき、ご購入された販売店へご連絡いただけますようお願いいたします。

※ご連絡なく弊社へお送りいただいた場合、対応する事ができません。

保証書について

この製品には保証書が添付されています。

保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買い上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡しいたします。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

初期不良について

商品を購入後、初期不良が理由で商品を返品するためには、以下の条件を全て満たす必要があります。

- ① お客様が商品を購入してから1週間以内に販売店宛に連絡があること。
- ② 販売店もしくは販売代理店にて、初期不良と確認できた場合。
- ③ お買い上げ時の梱包材、箱、保証書、付属品等が全て揃っていること。
- ④ 製品の交換、修理等の対応の最終的な判断は、弊社にて行うこと。

ただし次の場合は、初期不良による交換・返品はできません。

- ・ 納品書・領収書を紛失された場合。
- ・ お客様の誤った使用方法により傷、破損、汚損、あるいは故障が発生した場合。
- ・ 弊社が商品の内容や品質に問題がないと判断する商品。
- ・ 特別の事情がなく、ご連絡後速やかに商品が弊社に届かなかった場合。
- ・ お客様の一方的な都合による場合。

保証期間中の修理

正常なご使用状態のもとで万一故障が生じ、保証期間に該当する場合、弊社にて無償の修理を行います。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

※注意：保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。梱包箱を含めた付属品はアフターサービスの際に必要なになります。大切に保管してください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部品等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

※注意：すでに製品が完了している製品に関しては、部品等の供給も終了している場合があります。純正部品や代替部品による修理が不可能な場合や、本体の著しい破損/欠損の為に修理不能と判断した場合には、ご返却させていただく場合があります。予めご了承ください。

依頼の際ご連絡いただきたい内容

- ・ お名前、ご住所、お電話番号
- ・ 製品名・・・取扱説明書の表紙に表示しています。
- ・ 製造番号・・・保証書と製品背面に表示しています。
- ・ 故障の状況(できるだけ詳しく)

送料について

往復共にお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。

(但し初期不良の場合を除く)

並行輸入品について

弊社が正規輸入しました製品の補修用部品等は海外メーカーより、正規輸入品に対して供給されておりますので、日本正規総販売代理店製品の並行輸入品に関する修理、メンテナンス、及びアフターサービスにつきましては、一切受付けておりませんのでご注意ください。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に関して、当社の指定サービス機関以外による修理や改造が行われた場合は保証期間内であっても保証対象外となります。

9: 仕様

(100V電源で測定)

ゲイン	0dB (音量= 0dB、ライン/ XLR) + 48 (MM フォノ、Volume = 0dB)、+ 60dB (MC フォノ、音量= 0dB)
入力感度	330mV (ライン/ XLR) 3mV (MMフォノ)、300uV (MCフォノ)
入力インピーダンス	100K (ライン/ XLR) 47K (MMフォノ)、100R (MCフォノ)
入力電圧 (ライン)	3.5V以下 (<0.02%THD)
出力電圧 (ライン)	2.3V max (<0.02%THD)
出力インピーダンス (ライン)	120Ω
周波数特性 (ライン)	+/- 0.1dB (10Hz~20kHz) +/- 3.0dB (10Hz~100kHz)
周波数特性 (フォノRIAA)	+/- 0.3dB (10Hz~20kHz)
チャンネルインバランス	<0.2dB (10Hz~20kHz)
歪み率 (THD) (Vol = 0dB、Vin = 1V、20Hz~20kHz、1kHz参照)	<0.001% (ライン) <0.01% (フォノ)
信号対雑音比 (ライン) (Vol = 0dB、Vin = 1V、20Hz~20kHz)	> 107dB > 109dB (Aウエイト)
信号対雑音比フォノ (MM) (Vol = 0dB、Vin = 3mV、Rs = 1K、20Hz~20kHz)	> 73dB > 78dB (Aウエイト)
信号対雑音比フォノ (MC) (Vol = 0dB、Vin = 300uV、Rs = 0R、20-20kHz)	> 68dB > 73dB (Aウエイト)
クロストーク	<80dB (L→R & R→L @ 10kHz)

パワーアンプセクション	
ゲイン	29dB (20Hz~20kHz)
入力感度	840mV (ライン/ XLR)
入力インピーダンス (ライン)	15kΩ
定格最大出力	2×70W RMS (8Ω)、2×105W (4Ω) (Vmains = 230V、THD <1%)
周波数特性	- 0.1dB (10Hz~20kHz) - 3.0dB (10Hz~100kHz)
チャンネルインバランス	<0.2dB (10Hz~20kHz)
歪み率 (THD)-(ライン)	<0.002% (パワーアウト = 50W @ 1kHz BW = 20~20kHz)
S/N比	> 107dB (20Hz~20kHz) > 109dB (Aウエイト、20Hz~20kHz)
減衰係数	125 (8Ω負荷 @ 1kHz)
スタンバイ電力消費	<0.5W
寸法 (mm) (W×H×D)	80 x 444 x 330.3
カートンのサイズ (mm) (W x H x D)	500 x 140 x 452
本体重量	7.8kg
総重量 (梱包含む)	9.0kg

Audiolab 総輸入代理店



株式会社イースタンサウンドファクトリー

〒223-0056

神奈川県横浜市港北区新吉田町205

Tel: 045-548-6592

Fax: 045-548-6593

HP: <http://esfactory.co.jp/>